

太陽住建の取組みについて



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
持続可能な開発目標



株式会社 太陽住建
Taiyo Jyuken

会社概要



会社名：株式会社 太陽住建
本社：横浜市磯子区
中原4-1-30
設立日：2009年10月
資本金：1,300万円
代表者：河原 勇輝

○事業内容

- ・ 太陽光発電システム販売、設置工事
- ・ 住宅リフォーム、リノベーション工事

中小企業の在り方



・地域貢献

井土ヶ谷アーバンデザインセンター開設、消防団への加入、
空き家活用、障がい者等の就労支援、太陽光発電設備の寄付、
地域の祭へ出展や協賛、復興支援、学びサポート、グリーンバード 等



地域に必要とされる企業を目指し、平成25年3月11日より
横浜型地域貢献企業最上位の認定を受ける。

・子ども達に社会経験を

地域の為に何が出来るかを一緒に考え、
子ども達に学ぶ楽しさ、協同でつくりあげることを知ってもらい、
「働く」の視点で街を見渡すきっかけに。
子どもの選択肢の一社となれるよう活動を継続していく。

本業と一体化した社会貢献を目指して

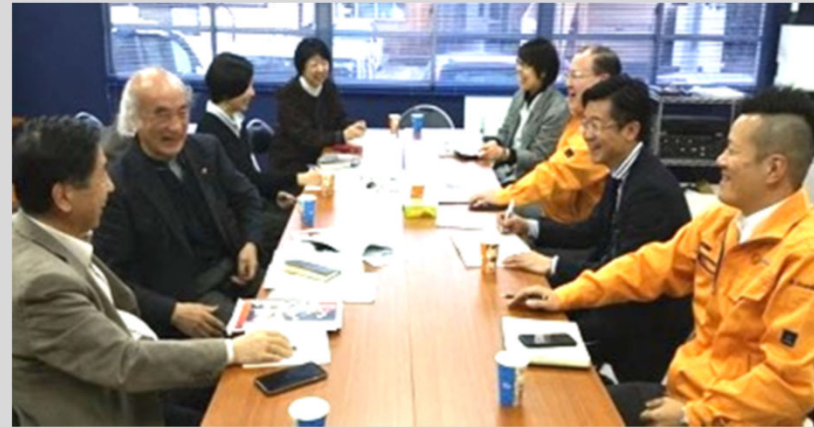


・エネルギー事業



太陽光パネル設置と架台組立て工事を
障がい者の方々と行い工事の分野での
雇用拡大に取り組んでいます。

・空き家活用プロジェクト



活用されていない空き家を
地域の防災拠点に。
一室には防災シェルターを設置、
また蓄電池付き太陽光発電システム
を搭載する事で地震が発生しても
倒壊せず電気の供給も
途絶えない空間を確保。

就労支援プロジェクト



・ 太陽光パネル設置工事 2018年1月

実施：社会福祉法人 紡 様
場所：横浜A高等学校



就労支援プロジェクト



大和市環境管理センター様



20年後には発電システムを撤去する。
太陽光パネルをタイムカプセルに見立て未来への手紙を。


2018年12月27日横浜市記者発表



「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けて

SDGs の同時達成！ ～温暖化対策・障害者就労・地域防災～

太陽光発電設置事業を実施！

—横浜発！太陽光発電普及キャンペーン 2020— 

横浜市地球温暖化対策推進協議会（以下、「推進協議会」）は、横浜市が目指す「Zero Carbon Yokohama^{※1}」の実現に向けた取組として、横浜市との協定に基づき、市内への太陽光発電設備の普及を進める「横浜発！太陽光発電普及キャンペーン 2020^{※2}」を推進しています。

このたび、本キャンペーンの一環として、推進協議会会員企業である株式会社太陽住建が、市内で高齢者施設を併設し、福祉に積極的に取り組んでいる「一般財団法人 育生会 横浜病院」に、太陽光発電設備を設置しました。

本事業は、リビングラボ^{※3}における地域住民と関係者の対話の中で生み出された提案により、太陽光発電設備の設置工事の一部を障害者施設等^{※4}が実施することで、障害者等の就労の場をつくとともに、災害時は太陽光発電設備を用いた非常用電源を有する施設^{※5}として、地域の安心感にもつながるなど、SDGs（持続可能な開発目標）の複数の目標達成に寄与するものです。

横浜市及び推進協議会は、「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、共創フロント^{※6}に提案された本事業の情報発信を行ってまいります。

■ 一般財団法人 育生会 横浜病院
住所：横浜市保土ヶ谷区狩場町 200-7
太陽光発電設備：容量 48.6kW



SDGs は、世界が抱える貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなどの様々な問題を解決し、持続可能な社会をつくるために国連で世界各国が合意した 17 の目標と 169 のターゲットです。本事業は、以下の 5 つの目標達成に寄与する取組です。



7 再生可能エネルギー
8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを
13 気候変動に具体的な対策を
17 パートナリシップで目標を達成しよう

2019年 3月20日横浜市記者発表



第26回 横浜環境活動賞 受賞者決定

横浜環境活動賞は、地域で様々な環境活動を積極的に行っている方々を表彰する制度です。このたび、学識経験者などで構成する「横浜環境活動賞審査委員会」の審査を経て、第26回の受賞者を決定しました。

横浜市は、この制度を通し、市民の皆様にも環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりに取り組む方々を応援しています。

1 受賞者一覧（全12名） ※受賞者の概要は別添資料参照（敬称略）

<p>市民の部（5団体）</p> <p>大賞 特定非営利活動法人森ノオト</p> <p>実践賞（五十百順）</p> <p>ハマの海を想う会 保土ヶ谷区民会議（環境分科会） 横浜自然観察の森友の会 リバーサイドガーデン・フラワーズ</p>
<p>企業の部（4社）</p> <p>大賞 株式会社太陽住建</p> <p>実践賞</p> <p>アマンドリーナ合同会社 東芝環境ソリューション株式会社 横浜緑地株式会社</p>
<p>児童・生徒・学生の部（3団体）</p> <p>大賞 横浜市立車ヶ谷小学校</p> <p>実践賞</p> <p>横浜市立本郷小学校 横浜市立南本郷小学校</p>
<p>生物多様性特別賞（1団体）</p> <p>横浜自然観察の森友の会 ※市民の部実践賞と同時受賞</p>

受賞者への取材については、問合せ先にご連絡ください。



横浜の環境活動キャラクター
エコぼん



空き家を活用

・横浜市磯子区 Yワイ広場



磯子区中原にある空き家を、コミュニティスペース及びコワーキング・スペースへとリノベーションして活用。共有スペースは、みんなでアイデアを出し合い、地域の方々や入居する方々が自然と世間話ができるような地域の間づくりを目指します。

- ・ 最寄りの町内会館が倒壊



本来、地域の避難者を収容するべき町内会館が倒壊。
高齢者が炎天下の中テントで生活。



空き家 → 地域の電気防災ステーション



×



耐震シェルター 剛建
有限会社宮田鉄工

株式会社 太陽住建
Taiyo Jyuken

工事の一部をワークショップ



泊まる



働く



DIY



solar crew



遊ぶ学ぶ



真鶴町・松田町との連携



solar crew in 真鶴



solar crew in 真鶴





solarcrew



第8回 グッドライフアワード 環境大臣賞





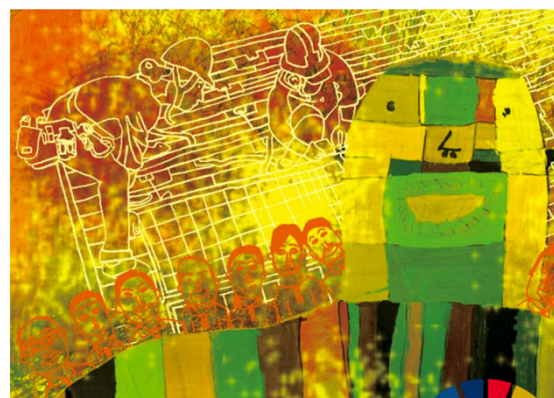
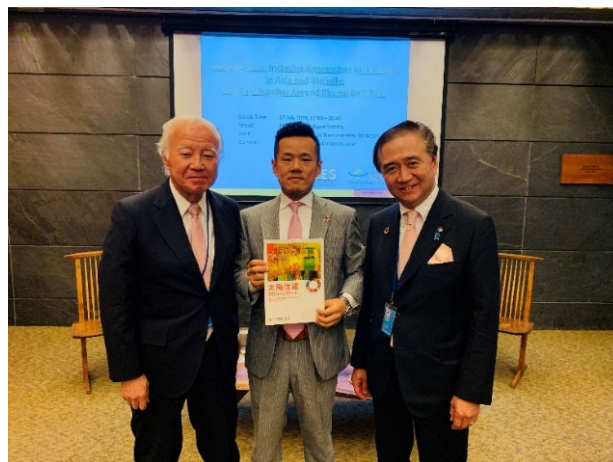
国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF）

2019年7月 NYで開催されたHLPFに登壇。

サイドイベントにてSDGsレポートを発表しました。



HIGH-LEVEL POLITICAL FORUM
ON SUSTAINABLE DEVELOPMENT



太陽住建 SDGsレポート

地域とともに創る、誰ひとり取り残さない
持続可能な社会



株式会社 太陽住建 IGES
Taiyo Jyukken

2019

表紙は「NPO法人ぷかぷか」で働く障がいを持つ方々が、太陽住建のイメージを絵で表現したもの。

「NPO法人ぷかぷか」は弊社の障がい者雇用支援パートナーであり、太陽光設置時やイベント時のケータリングなどでご協力いただいています。

※SDGsレポートは弊社HPよりご覧いただけます。

ご清聴有難うございました

太陽住建はお客様の「頼んで良かった！」の声に
応え続け**100年企業**を目指して参ります



0 1 2 0 - 4 6 0 - 0 2 5

